

RFC2050リバイズ・ プロジェクト報告

廣海緑里

<インテックネットコア, JPNIC IP検討委員>



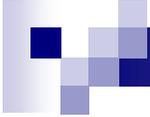
AGENDA

- **RFC2050とは**
 - RFC2050とは
 - RFC2050の内容
- **リバイズ・プロジェクト**
 - ARIN 2050 Working Group
 - スケジュール
 - 現在までの状況
 - 改訂にあたっての原則
 - 新ポリシードキュメントシリーズ紹介
- **今後の展望**



RFC2050とは

- **IPアドレス割り振り・割り当てに関する唯一のグローバルポリシー・ドキュメント(全13ページ)**
- **1996年にRFC1466からリプレイス**
 - InterNIC(のちのARIN) が中心となって作成
 - 背景にはNFSの基金終了、InterNIC ARINという流れも
 - 当時のインターネット及びレジストリ事情を反映
 - ダイヤルアップ接続隆盛、コンシューマにブレイク
 - ISP林立
 - IP-USERSもこれが縁



RFC2050の主な内容(その1)

- 「アドレス節約」「適正な経路制御」「ちゃんと登録」
- RIR、LIR定義(NIRがない...)
- Allocation/assignment、PI/PAの定義
- IXの定義
 - 主要な相互接続点に直接接続
(a neutral layer 2 exchange point connecting four or more unrelated ISPs)
 - マルチホーム接続



RFC2050の主な内容(その2)

- リースの概念とリナンバ推奨
- スロースタート
- クラスフルアドレスの割り当てを受けるには正当性の証明が必要
- ダイアルアップユーザへの動的割り当て推奨
- プライベートアドレスの利用推奨



RFC2050の主な内容(その3)

- 利用率
 - 直後25%、1年以内50%消費
- おかわり時の80%ルール
 - 昨今のADSLなどの成長率に追いつかない
- エンタープライズの考え方
 - 支社や子会社も同一組織とみなす。アドレス消費量計算に影響大！

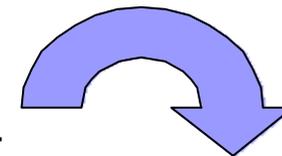
リバイズ・プロジェクト



- ARIN RFC 2050 Working Group
 - 2001年ICANN ASOストックホルム会議で議論
ICANN ASOドキュメントとしてのリプレイス提案
 - 2001年9月にMLでの議論開始
 - チェアは Mark McFadden (Commercial Internet eXchange)
 - 主な活動場所はmailing-list, オープンなML。(但し英語)
 - RFC2050を精査し、それを新しいドキュメントに置き換える方法について提案、改定、RIR調整
 - subscribeは 2050-wg-request@arin.net へ

wgのスケジュール

- 2001/10/28
 - RFC 2050 WGオープンミーティング in マイアミ
- 2002/1/25
 - 変更のためのリクワイヤメントをまとめる
 - ドキュメントのリクワイヤメントにあった変更プロセスをまとめる
- 2002/2
 - 変更のドラフティング開始
 - RIR間の調整を進める
- 2002/2Q
 - ASO general assembly meeting で進捗報告



改訂進行中...



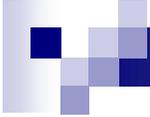
現在までのMLでの議論状況

■ *Mark Mcfadden*から

- 新ドキュメント策定の原則、現2050の分析、背景、WGのチャーター
- ARIN MtgでのプレゼンやAPNIC Mtgでの議論の報告 (2001/Oct ~ 2002/Mar)
- RFCとして改訂するか、について (ポリシーだし)
- 新ドキュメントの提案(2002/Apr)

■ ドラフティングボランティア募集中

- 特にドキュメント群の1・2・3・5(後述)の書き手を募集
2に対する応募があっただけ



ドキュメント改訂にあたっての10原則

新しいドキュメント・シリーズは下記の10原則に従って改訂する。

各レジストリのアドレスポリシー文書で扱われている日々の運用上の問題は扱わない
レジストリシステムの現在の構造及び、歴史的変遷とその背景について盛り込む
IPv4アドレス割り振りの現在の原則とクライテリアを記載する

IPv6アドレス割り振りの現在の原則を記載する。IPv6割り振りに関する現在までの議論と決定事項やその説明のポイントを示す

既存のレジストリ間の関係、新しいレジストリの設立方法、ICANN・ASO・レジストリ三者の関係、グローバルポリシーの策定・見直し・実装方法を記述する

RIR共通の情報源（付属文書やFAQにも役立つ）、IPアドレス割り振りプロセスの基本となる

RIRのAS番号割り当て・管理について、割り当て原則やクライテリアを含めて記述する
逆引きサービスの提供について記述する

コミュニティからの意見の反映による改訂、拡張が容易にできるようにする

IETFの新しいRFCとして発行されなくてもよく、全く別のドキュメントでも構わない



各セクション説明

8つのドキュメント・シリーズとして提案

- *IP-ADDRdoc 1: 「IP-ADDRdocs の著者と編集者へのインストラクション」*
 - 文書の目的。各ドキュメントの形式、記述方法、承認と発行方法
 - IP-ADDRdoc シリーズのメタドキュメント
- *IP-ADDRdoc 2: 「IPアドレス利用ポリシー・割り振り・原則のガイド」*
 - IPアドレス利用ポリシーやRIRとその階層構造などのチュートリアル文書
 - レジストリで使っている用語解説もここに入る
 - RFC2050のセクション1に置き換わるもの
 - 読みやすく、ユーザーフレンドリーなフォーム



各セクション説明

- *IP-ADDRdoc 3 : 「IPv4 でのIPアドレス割り振りの原則」*
 - RFC2050のセクション1から独立して扱う
 - IPv4における特別なケースでの割り当てと利用につて
 - プライベートアドレスや、マルチキャストも含む。その他IANAやRIRによる予約アドレス等

- *IN-ADDRdoc 4 : 「IPv6でのIPアドレス割り振りの原則」*
 - セルフ参照的なもの
 - 書きごたえあり😊



各セクション説明

- *IP-ADDRdoc 5: 「AS番号割り当ての原則」*
 - セルフ参照的なもの。

- *IP-ADDRdoc 6: 「IPv4 アドレス割り振りの基準ガイドライン」*
 - RFC2050のセクション2~4のリバイズ
 - RIRで使われるドキュメントとして、共通のクライテリアを記述
 - RIRの運用的ドキュメントへのポインターも記述
 - "設計計画"、"割り当て履歴"、"利用率"などの重要な用語の定義



各セクション説明

- *IP-ADDRdoc 7: 「IPv4の逆引きサービス」*
 - セルフ参照的なもの。
 - RFC2050 セクション5のリバイズ
 - IN-ADDR.ARPAの構造や管理

- *IP-ADDRdoc 8: 「組織のアドレス分配と組織間の相関」*
 - RFC2050セクション6の「抗議の権利」のリバイズ
 - RIR、IANA、ICANN、IETFの説明
 - RIRとICANNの関係(MoUへのポイントと説明的文章)や、新しいレジストリが生まれるメカニズム(あるいはポイント)、RIRとASOの関係、またRIRとIETFの関係など
 - ICANN ACやASOのもとで発行されたプロシージャ・ドキュメントのポイントも含む
 - AC、ASQ、RIR間の関係を定義するドキュメントを含む 予定



追加が望まれるもの

- IRR?
- レジストリシステム
- 後続のポリシー策定の方法、メンテナンス
- レジストリ運用、レジストリの権利の範囲
- ユーザの権利
- アサイメントウィンドウ
- 特殊なケースと変化へのアプローチ
- **...Any Comment?**



今後の課題

- 現状の課題を全てカバーしてるか？
- ボランティア
- リリースまでの目標スケジュール
- RFC化とASOドキュメント



ML(再掲)

- subscribeは、2050-wg-request@arin.net ^